

# 千葉県議会議員 関 政幸

県政報告  
新聞

第11号

2014年4月発行



即行動!身近で分かり易い県政、よりよい千葉県を目指して

## 教育

### ちばっ子を守る!「いじめ防止対策推進条例」が成立 ～作成者の視点～

**いじめ対策を強力に推進するための柱**となる条例です!

会派プロジェクトチームでの1年間の検討と96件のパブコメでのご意見等を受け、2月県議会で議員発議により成立しました。条例は全23条で構成され、施行日は平成26年4月1日です。

#### 条例の特徴・・・提出者を代表して行った関の本会議での説明に沿って

- ① 『いじめは絶対に許されない』『何よりも子どもを守る』という絶対的な視点  
→県の責務と市町村その他県民を含めた関係者の役割の規定、連携のための「千葉県いじめ問題対策連絡協議会」を設置。
- ② 『子どもがいじめの悩みをひとりで抱え込まない』『先生もいじめの対応で孤立させない』  
→早期発見や相談体制の充実、スクールカウンセラー等の人材の十分な確保。
- ③ 「子どもがいじめを自ら真剣に考える取り組みなどの予防策」を推進
- ④ クラス替えなどでいじめが起こりやすい4月を「いじめ防止啓発強化月間」と指定
- ⑤ インターネット上でのいじめに対し、ネットの適切な利用方法の周知や監視団体への支援
- ⑥ 県教育委員会に有識者で構成する「千葉県いじめ対策調査会」を設置  
→いじめに関する調査研究や対策の審議、県立学校で重大事態が発生した場合の事実調査。
- ⑦ 県立学校以外での重大事態への対応  
→本県の特徴の一つである県外に通学する児童等のケースを含め、関係機関との連絡などを行って迅速かつ適切な解決を目指します。
- ⑧ いじめ対策を総合的かつ効果的に推進するための「県いじめ防止基本方針」の制定  
→実行性を担保するため、PDCA手法を用いた評価・検証を行うこととしています。
- ⑨ 法律に規定されている調査とは別に、県内すべての学校で発生した重大事態を対象として、知事が学校設置者と連携しながら、対処のために必要な調査等ができることとしています。  
→千葉の子どもたちを守る最後の砦としての役割を、時の知事に期待しました。議員発議条例ならではの特徴といえます!

#### 施策の展開・・・平成26年度はいじめ対策が強化されます!

- 新 スクールカウンセラーの配置拡充  
公立学校…全公立中学校326人・県立高校70人の配置に加えて、新たに小学校35人の配置拡大(隔週1回6.5時間×18週)  
私立学校…配置の補助金を1校30万円から45万円に増額(25年度分も2月補正で増)
  - 新 千葉県いじめ防止基本方針の策定、千葉県いじめ問題対策連絡協議会の開催
  - 新 保護者向けにいじめ防止対策に関するリーフレットや教員向けの指導資料の作成
  - 新 教育庁の指導課生徒指導室は「生徒指導・いじめ対策室」になります。
  - 継 子どもと親のサポートセンター 24時間いじめ電話相談「TEL:0120-415-446」
  - 継 青少年の書き込みが多い掲示板などの監視を行うネットパトロール
- ・・・etc

本条例の第10条には県民の役割が規定されています。周りの大人が誰か一人でも子どものSOSに気付き、少しでも心の支えになってあげられることがとても大切だと考えます。

## 医療 東千葉メディカルセンター ～平成26年4月1日オープン～

東金ICの近くに位置するセンターは、山武長生夷隅保健医療圏の中核病院であり、平成26年度当初予算では助成事業7億1830万円が計上されています(1年目は146床でスタート)。

同センターには最新の医療機器が配備され、本棟は免震構造となっています。また、動線を考慮した効率的な設計となっています(水平移動で患者の検査や手術が可能)。

1階には**救命救急センター**が併設されており、三次救急医療(生命に危険がおよび高度な緊急治療を必要とする重症患者)の関係では、**千葉市も緑区などから救急搬送の受け入れが行われる**こととなりますので、**重症患者の搬送先の選択肢の増加と搬送時間の短縮が期待**されます。



HCUは10床、ICUは10床となります。

## 総務 資産マネジメントの推進 ～質問その後、委員会副委員長の視点から～

関は、平成25年9月議会で資産マネジメントに関する質問を行い、県有資産やコスト把握の重要性を訴え、施設の更新と安全確保、維持管理費の軽減・平準化の促進を求めました。

平成26年度からは、総務部に24名体制の「**資産経営課**」が**新設**されることとなり、老朽化の進む県有施設の建替え・集約・長寿命化などが実施されていくこととなります。

また、長寿命化や改築に伴う財政負担を軽減・平準化するために、355億円の県有施設長寿命化等推進基金積立金が設けられました。

## 防犯 「コンビニ防犯ボックスの配置」「自動車盗への対策」

新しい防犯体制を作る目的で『コンビニ防犯ボックス』モデル事業が平成25年11月から千葉市と市川市の2箇所で開催されています。

配置されているセーフティアドバイザーは、防犯ボランティアとの合同パトロールや子どもや女性の帰宅時間における見守りなどの活動を行っています。

地元の方からは「不安が解消された」といった声など、多くの反響が寄せられており、平成26年6月を目途に効果の検証が行われることとなります。



ミニストップ千葉星久喜店に設置。

県内の自動車盗の認知件数は、平成24年1月末で229件、平成25年1月末で234件、平成26年1月末で166件と推移しています。約22%はキーを付けたまま被害に遭っているため、駐車時には必ずキーを抜くように注意をする必要があります。

自動車盗などの犯罪の温床の原因と指摘されるのが「不法ヤード」の存在です。

対策として、平成26年度当初予算では、自動車ナンバー自動読取システムや捜査用ビデオカメラの整備、ヤード実態調査のための立入調査などの事業が計上されています。

また、「仮称：千葉県ヤード設置適正化条例」の制定に向けた取り組みも進んでおり、対策の一層の強化を図っていきます。

発行所:関 政幸 政務活動事務所

住 所:千葉市緑区あすみが丘3-51-10

tel.043-295-1011 fax.043-291-5526

※ネット検索

関まさゆき 千葉

でヒット。

ホームページ:

<http://www.seki-masayuki.com>



千葉県議会議員 関 政幸 プロフィール

●1979年生まれ ●土気南中学校卒 ●千葉東高校卒 ●早稲田大学商学部卒

●弁護士 ●自民党会派所属 ●総務防災常任委員会副委員長

★★ 県政や地方議員の役割に対する皆様のご意見やご要望をお聞かせ下さい!!★★